

問 村費助成でPCR検査の実施を

答 課題が多く村費助成は難しい



公明党
おがさき さとる 議員
岡崎 悟

問 県内では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、迅速に検査を進めるために、各地域医師会がPCR検査センターの開設を進めている。患者は体の不調を訴えても、医師による診察を受けなければ公費によるPCR検査を受けることができない。本人が希望した場合、PCR検査を受けられる体制を作る必要がある。PCR検査への村独自の費用助成ができるか。

答 感染を不安に思う方が自ら希望して行う自由診療による検査に対して費用を助成する



コロナに負けるな！

ことは、特定の医療機関や検査機関の対応を逼迫させる一因となり、地域の医療体制に混乱を招く恐れがある。また、検査制度の問題から、無症状者へのPCR検査単体での感染者確定は難しいこと、さらに感染判明後の濃厚接触者の特定や感染者の入院調整等、保健所が実施する業務が伴う「指定感染症」であること等を踏まえると、村が独自に費用助成をすることは難しいと考える。

問 入札の指名審査会は公開すべき

答 外部圧力を避けるために非公開



新政とうかい
おおうち のりお 議員
大内 則夫

問 村内で経済を循環させるためにも、特にな工事以外は「本社が村内」の業者に発注すべきと考えるがどうか。

答 村内業者でできるものは村内業者に発注することにより、資金が地域内で循環し、地域経済の活性化につながっていくと考える。特殊な工事を除き「本社が村内」としている。

問 審査会は非公開「秘密会」だが、莫大な公金支出を決定する審査機関である。決定状況について、議会にも村民にも情報が伝わらない。ライブ中継をとは言っていない。後日



村外業者が受注した工事現場

でもよいから公開すべきである。

答 審査会では見積額の根拠・内容等と事故その他不測の事態への対処体制や発生時の対応等にまで議論が及ぶ。これらの議論は発注に関する不安要素を解消することが目的である。結論に至る検討段階での内容が、たとえば事後であっても公表されると、村民の誤解や憶測を招く、または外部からの圧力や干渉が及ぶ恐れもあることから非公開としている。